

委員会視察成果報告書

令和6年7月29日

犬山市議会議長

議員名 沼靖子

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和6年7月19日(金)
(2) 視 察 地	狛江市議会議会だより編集委員会
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会（広報委員会）
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	○議会だよりの意味について
	市議会だよりは「エントリーペーパー」という位置づけが大変興味深い。新しい世代にターゲット層を絞り、議会と距離のある人に議会誌を手にとってもらうこと、知ってもらうことが方針。とってもらう、みってもらう、よんでもらうというコンセプト。
	○議会だよりの工夫
	表紙の写真にもこだわっている。スーツを着ない、市民の映っている写真を使うなど。広報委員を議会運営委員会の直下に位置付けることで、議会運営と議会発信の方向性が一致していくことが分かった。
	○一問一答ページについて
	当市議会でも「議員のプライベートは？」というコメントが寄せられた。狛江市の一問一答ページを拝見したが、身近な存在に感じてもらうための手段になると考える。
	○議会だよりは誰のためかを改めて考えたい
	大変刺さる課題。改めて自問自答してみる。議員のためでもなく、議会のためでもなく、市民のためである。このことを忘れてはいけない。その中でどういうレイアウトや、発信内容を考えていくことが重要だと思う。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	

